

自分の思いを信頼できる人と話し合しましょう

※ 記入できるところから考えてみましょう。全ての項目を記入する必要はありません。

※ 時間がたち、気持ちの変化があった際は、書き換えも可能です。 記入日： 年 月 日

(注 意) これ以降は、療養生活が必要になった時に、
信頼できる人や医療・介護関係者と一緒に考えましょう



もしも、あなたが、病状の悪化などにより、自分の思いを
十分考えたり、周りに伝えられなくなった場合について考えます。

1 ご自身の考えを伝えられなくなった場合に、どのような治療を望みますか？

あなたの考えに近いものはどれですか？ (チェックは1つ)

- 命を長らえることを最も重視した治療
- 心身に大きな負担のあることは希望しないが、その上で少しでも命を長らえるための治療
- 命を長らえるための治療より、痛みやつらさを軽減し、快適さを重視した治療






※ 治療の詳細な内容等は、医師に確認しながら、考えていきましょう

別紙「延命治療に関する用語説明」も参考にご覧ください

2 ご自身の考えを伝えられなくなった場合の治療やケア、過ごす環境などへの希望はありますか？

例)できるだけ家族と過ごしたい、静かな環境で過ごしたい、お風呂に入るなどできるだけ清潔でいたい

3 今後病気が悪くなり、最期を迎えるときは、どこで過ごしたいですか？ (チェックは1つ)

- 自宅 
- 施設 
- わからない
- 病院 
- 信頼できる家族などに判断を任せる
- その他()